

平成28年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主要施策の一例】

全府省庁合計 3,421億円

	要求総額	対前年度（百万円）			
【内閣官房】	70,120	(+8,750)	【農林水産省】	190	(+98)
○ 情報収集衛星関係経費	70,120	(+8,760)	○ 被災地域の農作物等復興状況の把握	20	(0)
【内閣府】	19,641	(+4,400)	○ 漁業取締のための船舶監視システム(VMS)の運用	170	(+98)
○ 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	18,875	(+4,252)	【経済産業省】	3,291	(+347)
○ 中央防災無線網の整備・維持管理等	203	(0)	○ 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発	500	(0)
○ 宇宙利用拡大の調査研究	400	(+98)	○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業	350	(+50)
○ 戦略的イノベーション推進プログラム(SIP)	50,000の内数	(50,000の内数)	(SERVISプロジェクト)		
【警察庁】	1,155	(+297)	○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	1,711	(+525)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用	1,155	(+297)	○ 太陽光発電無線送受電高効率化の研究開発	250	(0)
通信衛星の使用等			【国土交通省】	10,593	(+1,151)
【総務省】	5,029	(+2,607)	○ 準天頂衛星を利用した航空用の衛星航法システム	248	(新規)
○ 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	86	(+5)	(SBAS)による測位補強サービスの実現		
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,499	(+537)	○ G空間情報の円滑な流通促進に向けた検討	116	(新規)
【外務省】	363	(+205)	○ 静止気象衛星業務等	8,402	(+23)
○ 衛星画像判読分析支援	349	(+205)	○ 人工衛星の測量分野への利活用	975	(+71)
○ 宇宙外交推進費	14	(0)	【環境省】	5,878	(+1,898)
【文部科学省】	189,399	(+36,985)	○ いぶき後継機開発体制整備等	3,631	(+835)
○ 先進レーダ衛星	1,380	(新規)	○ 衛星による地球環境観測経費	1,041	(+17)
○ 次期技術試験衛星	463	(新規)	【防衛省】	36,456	(+6,810)
○ 小型月着陸実証機	4,063	(新規)	○ 衛星通信、商用画像衛星の利用等	35,178	(+5,918)
○ 新型宇宙ステーション補給機	1,958	(新規)	○ 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための	1,074	(+698)
○ H3ロケット	22,500	(+9,955)	調査・研究等		
○ 宇宙状況把握(SSA)システム	1,455	(+1,243)	○ 宇宙監視に係る取組	194	(新規)
○ 革新的衛星技術実証プログラム	2,580	(+1,660)			
○ ジオスペース探査衛星(ERG)	7,902	(+5,865)			
○ 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	3,915	(+2,547)			
○ 気候変動観測衛星(GCOM-C)	7,094	(+5,123)			

・各府省庁予算の単位は百万円(内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない)。
 ・()内は対前年度当初予算比+増▲減(内数表記の金額は増減額ではなく内数額を記載)。
 ・記載した個別事業は、各府省の主要事業を抜粋したもの。
 ・四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

府省名	施策名	平成27年度 当初予算	平成28年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
			概算要求額	優先課題推 進枠	計				
	宇宙関係経費	278,565	251,650	90,385	342,112	63,548	22.8%		
	内閣官房	61,370	55,182	14,938	70,120	8,750	14.3%		
	情報収集衛星関係経費	61,360	55,182	14,938	70,120	8,760	14.3%	情報収集衛星の開発・運用等	
	宇宙開発戦略本部事務費	11	0	0	0	▲ 11	-100%		
	内閣府	15,240	13,507	6,057	19,641	4,400	28.9%		
	中央防災無線網の整備・維持管理等	203	126	77	203	0	0%	衛星通信回線の使用料及び衛星通信地球局(固定型)の整備	
	準天頂衛星システムの開発・整備・運用	14,622	12,895	5,980	18,875	4,252	29.1%		
	実用準天頂衛星運用経費	326	288	0	288	▲ 37	▲ 11.5%	衛星の運用に必要な事務費	
	実用準天頂衛星開発・整備経費	12,297	12,607	0	12,607	310	2.5%	実用準天頂衛星追加3機分の開発費	
	実用準天頂衛星打上げ経費	2,000	0	5,980	5,980	3,980	199%	実用準天頂衛星の打上げ費	
	宇宙開発利用の推進	415	486	0	486	71	17.1%		
	宇宙利用拡大の調査研究	302	400	0	400	98	32.4%	宇宙安全保障の確保、民生分野における宇宙利用の推進及び産業・科学技術基盤の維持・強化に資する調査研究	
	宇宙開発利用政策事務費	113	86	0	86	▲ 27	▲ 23.7%		
	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)	50,000	45,000	5,000	50,000	0	0%		
	「次世代海洋資源調査技術」	5,750百万円の内数	概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額等の内数			調査船、洋上中継器、陸上の拠点間で、海洋資源調査データを高速で伝送する海洋衛星通信技術を開発	事業総額は平成26年度配分総額、平成27年度当初配分額の合計
	「自動走行システム」	2,320百万円の内数	概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額等の内数			衛星測位技術の活用による自動車や歩行者等の高精度な位置の特定技術を開発	事業総額は平成26年度配分総額、平成27年度当初配分額の合計
	「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」	3,270百万円の内数	概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額等の内数			衛星SARによる地盤および構造物の変状を広域かつ早期に検知する変位モニタリング手法を開発	事業総額は平成26年度配分総額、平成27年度当初配分額の合計
	「レジリエントな防災・減災機能の強化」	2,450百万円の内数	概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額等の内数			ALOS-2災害情報処理システムを用いたリアルタイム被害推定・実態把握技術を開発	事業総額は平成26年度配分総額、平成27年度当初配分額の合計
	「次世代農林水産業創造技術」	3,320百万円の内数	概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額等の内数			人工衛星のセンシング情報等を利用して農作業管理を自動化・知能化する技術を開発	事業総額は平成26年度配分総額、平成27年度当初配分額の合計
	警察庁	858	904	250	1,155	297	34.6%		
	高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	858	904	250	1,155	297	34.6%		
	高解像度衛星画像解析システムの運用	256	289	0	289	33	12.9%	衛星画像供給業者より購入した衛星画像を解析し、警察活動に活用	
	通信衛星の使用	556	559	0	559	3	0.5%	衛星情報接続サービスを利用して現場映像等を警察活動に活用	
	政府間端末等の運用	46	56	250	307	261	567.4%	情報収集衛星の利用その他の手段により得られる画像分析を行うための機器・設備の保守	

府省名	施策名	平成27年度 当初予算	平成28年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
			概算要求額	優先課題推 進枠	計				
総務省		2,422	5,029	0	5,029	2,606	107.6%		
	準天頂衛星時刻管理系設備の運用	64	57	0	57	▲ 7	▲ 11.5%	研究開発を進めてきた準天頂衛星初号機「みちびき」の時刻管理系の実証運用	
	宇宙通信システム技術に関する研究開発	1,962	2,499	0	2,499	537	27.4%	国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の宇宙通信分野の基礎的研究開発	
	海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	81	86	0	86	5	6.7%	海洋資源の調査を効率化するため、通信衛星を活用して洋上のブロードバンド環境(10Mbps級)を構築するための次世代通信衛星技術の研究開発を実施する	
	次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	290	調整中	0	調整中	0	0%	宇宙環境下でのアンテナの変形に伴う地上ビームの変形を補正し、効率的なビーム形状を安定的に保持する技術を確立することにより、周波数の有効利用に資する研究開発を実施	
	ニーズに合わせて通信容量や利用地域を柔軟に変更可能なハイスループット衛星通信システム技術の研究開発	0	調整中		調整中	—	—	人々の社会経済活動のあらゆる領域において、好きなときに(周波数帯域を柔軟に変更可能)、好きなように(通信容量100Mbps程度)衛星ブロードバンド通信を可能とするための研究開発を実施する。	
	衛星リモートセンシング技術に関する研究開発	0	2,361	0	2,361	2,361	—	地球温暖化に代表される気候変動等のモデル化・シミュレーションによる予測技術高度化のために必須な、陸上・海上を問わないグローバルな大気観測のための衛星搭載地球観測センサや観測データの解析技術等のリモートセンシング技術の研究開発を推進	
	全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	8	8	0	8	0	0%	全国瞬時警報システムの情報伝達において衛星回線を利用	
	地域衛星通信ネットワークの利用	18	18	0	18	0	0%	災害時に国と地方公共団体及び地方公共団体間を結ぶ通信ネットワーク	
外務省		158	363	0	363	205	129.7%		
	衛星画像判読分析支援	144	349	0	349	205	142.4%	衛星画像情報を活用するための設備・機材の調達・保守、及び関連データ収集等	
	宇宙外交推進費	14	14	0	14	0	0%	「宇宙外交」を推進するための会議費及び旅費	

府省名	施策名	平成27年度 当初予算	平成28年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
			概算要求額	優先課題推 進枠	計				
文部科学省		152,414	132,747	56,652	189,399	36,985	24.3%		
	JAXA(プロジェクト予算に自己収入額を含まない) ※航空関連経費を除く	111,212	88,004	34,158	122,162	10,950	9.8%	自己収入:地球観測データの提供により得られる収入(提供 事業収入)や特許権や著作権の資料により得られる収入(特 許等使用料)等	
	JAXA 運営費交付金(自己収入額控除後) ※航空関連経費を除く	111,212	88,004	34,158	122,162	10,950	9.8%		
	1. 基幹システム関連経費	28,876	22,517	17,226	39,742	10,866	37.6%		
	H3ロケット	12,545	5,127	16,776	21,903	9,358	74.6%	H3ロケットの開発と打上げ関連設備の整備	
	基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修	50	140	450	590	540	1,080.0%	衛星2機をそれぞれ異なる高度の軌道(主に太陽同期軌道) に打ち上げる技術の開発	
	基幹システムの維持 等	16,281	17,249	0	17,249	968	5.9%	打上げ射場設備等の維持運用、地上局の維持運用、ロケット 製作用関連設備等の維持運用、追跡ネットワーク維持、環境 試験設備維持 等	
	2. 宇宙環境利用関連経費	2,866	2,866	0	2,866	0	0%	日本実験棟「きぼう」を利用した宇宙実験の実施や宇宙医学 研究等の推進、宇宙環境利用研究の推進 等	
	3. 衛星利用推進関連経費	13,848	6,385	4,546	10,931	▲ 2,917	▲ 21.1%		
	次世代情報通信衛星の技術検証	43	0	0	0	▲ 43	▲ 100.0%	災害時の通信の確保のための次世代情報通信衛星の技術 検証	
	軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分) (DRTS、ETS-8,WINDS)	1,213	1,070	0	1,070	▲ 143	▲ 11.8%	通信分野の試験衛星の運用	
	準天頂衛星の運用	808	778	0	778	▲ 30	▲ 3.7%	準天頂衛星初号機「みちびき」の運用	
	利用推進関連設備の維持 等	3,452	3,420	0	3,420	▲ 32	▲ 0.9%	地球観測データ総合管理・提供システムの運用・更新及び地 球観測データ通信局(鳩山)の維持・運営、地球観測データ利 用促進関連経費 等	
	赤外センサの研究	48	25	0	25	▲ 23	▲ 47.9%	安全保障・防災に資する、衛星に搭載する赤外線検出器の研 究	
	災害観測・監視システムの整備	78	78	0	78	0	0.0%	防災関連機関等のユーザと連携した防災利用実証実験等の 実施	
	先進光学衛星	5,060	481	1,211	1,692	▲ 3,368	▲ 66.6%	広域かつ高分解能撮像が可能な光学センサを搭載した先進 光学衛星の開発	
	光データ中継衛星	3,148	534	1,492	2,026	▲ 1,122	▲ 35.6%	光衛星間通信技術を用いた光データ中継衛星の開発	
	先進レーダ衛星	0	0	1,380	1,380	1,380	—	広域かつ高分解能撮像が可能なレーダを搭載した先進レー ダ衛星の開発	
	次期技術試験衛星	0	0	463	463	463	—	静止衛星市場市場における国際競争力強化を目指した技術 試験衛星の開発	

府省名	施策名	平成27年度 当初予算	平成28年度概算要求額等		対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考	
			概算要求額	優先課題推 進枠					計
	4. 技術研究関連経費	8,945	8,940	942	9,882	937	10.5%		
	宇宙太陽光発電技術の研究	300	300	30	330	30	10.0%	宇宙太陽光発電システム(SSPS)の実用化に向けた見通しをつける為の地上技術の実証	
	スペースデブリ対策技術の研究	85	85	0	85	0	0%	スペースデブリ対策技術の研究	
	将来研究(先行・革新、将来輸送系、共通基盤技術等)	819	814	330	1,144	325	39.7%	共通基盤技術の研究開発等	
	基礎・基盤施設維持運営費	4,513	4,513	0	4,513	0	0%	三鷹・調布地区、筑波地区、角田地区の施設維持費	
	情報システム関連	3,017	3,017	0	3,017	0	0%	スパコン等の維持、情報技術関連の技術開発	
	宇宙状況把握(SSA)システム	212	212	582	794	582	274.5%	SSAシステムの開発、運用	
	5. 宇宙科学関連経費	20,433	9,174	9,784	18,958	▲ 1,475	▲ 7.2%		
	水星探査計画(BepiColombo)	285	93	0	93	▲ 192	▲ 67.4%	水星の内部・表層・大気・磁気圏にわたる総合的観測	
	ジオスペース探査衛星(ERG)	2,037	2,281	5,621	7,902	5,865	287.9%	ジオスペース探査衛星「ERG」の開発	
	X線天文衛星(ASTRO-H)	11,432	138	0	138	▲ 11,294	▲ 98.8%	X線天文衛星「ASTRO-H」の開発	
	軌道上衛星の運用(科学衛星)	1,568	1,568	0	1,568	0	0%	科学衛星や探査機等の運用	
	学術研究・実験 等	3,101	3,085	0	3,085	▲ 16	▲ 0.5%	研究者による自由な発想による学術研究、基礎的研究開発等	
	宇宙科学施設維持	2,009	2,009	0	2,009	0	0%	研究観測設備維持、相模原キャンパス施設維持、科学衛星データ利用経費 等	
	小型月着陸実証機	0	0	4,063	4,063	4,063	—	小型月着陸実証機の開発	
	火星衛星サンプルリターンの調査研究	0	0	100	100	100	—	火星衛星サンプルリターンミッションに向けた調査研究	
	6. 国際宇宙探査関連経費	405	405	0	405	0	0%	国際宇宙探査に向けた技術研究や海外機関との調整等	
	7. 月・惑星探査関連経費	238	284	0	284	46	19.3%		
	小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	238	284	0	284	46	19.3%	「はやぶさ2」の開発	
	8. 信頼性向上プログラム	5,346	7,181	0	7,181	1,835	34.3%	ロケット・衛星に係る総合的技術力を継続的に発展・維持向上させるための取組	
	9. 産業振興・宇宙技術基盤の強化	2,040	1,980	1,660	3,640	1,600	78.4%		
	産業振興基盤の強化	1,120	1,060	0	1,060	▲ 60	▲ 5.4%	知的資産の外部提供や外部リソースの積極的活用、国内需要の開拓や海外需要獲得	
	革新的衛星技術実証プログラム	920	920	1,660	2,580	1,660	180.4%	宇宙利用・宇宙産業の抜本的拡大及びイノベーション創出	
	10. 国際協力の推進	614	614	0	614	0	0%	APRSAFの主催、センチネルアジアの推進等の国際協力の構築や海外の情報収集分析	
	11. 事業推進関連経費	6,759	6,759	0	6,759	0	0%	品質保証活動の強化や若手研究者のJAXAプロジェクトへの参加や外部研究者との交流の促進等	
	12. 人件費・間接経費等	21,841	21,900	0	21,900	59	0.3%	自己収入を含む	
	13. 自己収入	▲ 1,000	▲ 1,000	0	▲ 1,000	0	0%		

府省名	施策名	平成27年度 当初予算	平成28年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
			概算要求額	優先課題推 進枠	計				
	JAXA 補助金	39,596	43,680	21,574	65,253	25,657	64.8%		
	1. 宇宙ステーション運用等	30,236	26,181	13,706	39,887	9,651	31.9%		
	日本実験棟(JEM)運用等	8,959	8,929	0	8,929	▲ 30	▲ 0.3%	日本実験棟「きぼう」(JEM)の運用を推進	
	宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	21,277	17,252	11,748	29,000	7,723	36.3%	宇宙ステーション補給機(HTV)の年間1機の打ち上げ	
	新型宇宙ステーション補給機	0	0	1,958	1,958	1,958	—	新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)を開発	
	2. 施設整備費	911	3,899	3,867	7,766	6,855	752.5%	人工衛星やロケット等の開発に必要な試験設備や打ち上げ 関連設備等の維持・更新等	
	3. 全球地球観測システム構築の推進	8,419	13,351	3,418	16,769	8,350	99.2%		
	温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	1,369	3,540	376	3,915	2,546	186.0%	温室効果ガス(CO2、メタン)観測のためのGOSAT-2衛星シ ステムと地上システムの開発	
	気候変動観測衛星「GCOM-C」	1,971	4,206	2,888	7,094	5,123	259.9%	多波長光学放射計(SGLI)により、雲・エアロゾル、海色、植 生、積雪分布等の連続観測	
	雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ (EarthCARE/CPR)	144	308	0	308	164	113.9%	気象予報、気候変動予測の精度向上のためのCPR(雲プロ ファイリングレーダ)と地上システムの開発	
	超低高度衛星技術試験機(SLATS)	31	525	155	680	649	2,094%	超低高度軌道からの観測を実現するSLATSと地上システム の開発	
	軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分) (GOSAT、GCOM-W、ALOS、ALOS-2、GPM/ GPR)	4,905	4,772	0	4,772	▲ 133	▲ 2.7%	地球観測衛星の運用	
	4. 基幹ロケット高度化の推進	30	249	582	831	801	2,670%		
	基幹ロケット(H-IIA)高度化	30	249	0	249	219	730.0%	H-IIAロケット能力向上	
	基幹ロケット(イプシロン)高度化	0	0	582	582	582	—	イプシロンロケット能力向上	
	文部科学省 内局	1,606	1,062	921	1,983	377	23.5%		
	1. 宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費	530	437	48	485	▲ 45	▲ 8.5%		
	宇宙航空科学技術推進委託費 等	485	437	48	485	0	0%	宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための研究開 発や人材育成等	
	宇宙状況監視に必要な経費	45	0	0	0	▲ 45	▲ 100%	内閣府、防衛省と共同で新たなSSAシステム構築の具体化に 向けた調査の実施	
	2. 宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進	98	98	0	98	0	0%	我が国における宇宙外交、宇宙システム海外展開を推進する ための調査研究等	
	3. 気候変動適応戦略イニシアチブ	941	491	873	1,364	423	45.0%	地球観測・予測データの収集からそれらのデータの解析処理 を行うための共通プラットフォームの整備・運用、気候変動 適応・緩和に資する共通基盤技術の研究開発を実施。また、 精緻な気候予測や対策の効果を総合的に評価できる技術を 自治体等と共同で開発し、気候変動に伴って強大化する猛暑 や豪雨等への自治体による地域特性に応じた新たな都市デ ザインや農業等の創出・導入の支援を実施。	
	4. 全球地球観測システム構築推進事務	37	36	0	36	▲ 1	▲ 2.7%	GEOSS拠出金等	

府省名	施策名	平成27年度 当初予算	平成28年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
			概算要求額	優先課題推 進枠	計				
農林水産省		92	190	0	190	98	106.5%		
	農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	20	20	0	20	0	0%		
	被災地域の農作物等復興状況の把握	20	20	0	20	0	0%	東日本大震災被災地域における農作物の作付状況の把握	
	赤潮・貧酸素水塊対策推進事業のうち人工衛星による赤潮・珪藻発生等の漁場環境観測・予測手法の開発	222百万円の内数	220百万円の内数		220百万円の内数	—	—	人工衛星による赤潮・珪藻発生等の漁場環境観測・予測手法の開発	
	我が国周辺水産資源調査・評価推進事業のうち人工衛星・漁船活用型漁場形成情報等収集分析事業	0		2,050百万円の内数	2,050百万円の内数	—	—	資源評価の精度向上に資するため、平成28年度打上げ予定の気候変動観測衛星による表面水温等の情報収集の支援	
	農林水産施策における衛星測位技術の活用	71	170	0	170	99	139.4%		
	VMSシステムの運用	71	170	0	170	99	139.4%	漁業取締のための船舶監視システム(VMS)の保守・運用	
	先端ロボットなど革新的技術の開発・普及	0	1,500百万円の内数	1,500百万円の内数	1,500百万円の内数	—	—	ロボット技術等革新的技術の導入による生産性の飛躍的な向上のための研究開発・導入実証等の支援。	
経済産業省		2,944	3,291	0	3,291	347	11.8%		
	超高分解能合成開口レーダの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	500	500	0	500	0	0%	低価格・高性能の小型レーダ衛星の研究開発	
	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	300	350	0	350	50	16.7%	民生部品・民生技術の宇宙転用	
	石油資源遠隔探知技術の研究開発	638	480	0	480	▲ 158	-24.8%	地球観測衛星ASNARO-1を用いた石油資源遠隔探知技術の確立、向上	エネルギー需給勘定
	極軌道プラットフォーム搭載用資源探査観測システム/次世代合成開口レーダ等の研究開発	70	0	0	0	▲ 70	-100%	地球観測センサASTER、PALSARの校正	エネルギー需給勘定
	ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	875	1,400	0	1,400	525	60%	ハイパースペクトル及びマルチスペクトルセンサの開発	エネルギー需給勘定
	次世代地球観測衛星利用基盤技術の研究開発	311	311	0	311	0	0%	ハイパースペクトルセンサから得られるデータの解析手法、センサの校正技術等の確立	
	太陽光発電無線送受電効率化の研究開発	250	250	0	250	0	0%	宇宙太陽光発電システムの無線送受電技術の研究開発	エネルギー需給勘定
国土交通省		9,442	7,263	3,330	10,593	1,151	12.2%		
	人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	818	872	26	899	81	9.9%	GNSS連続観測システム(GEONET)の整備・運用、電子基準点による地殻変動の監視	
	人工衛星の測量分野への利活用(リモートセンシング分野)	85	76	0	76	▲ 9	▲ 10.6%	人工衛星による地殻変動の監視、衛星画像を利用した地図の整備・更新や地球地図データの整備	
	3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	45	89	0	89	44	97.8%	屋内外測位環境の改善とシームレス化及び3次元地図の整備・更新等に係る技術の研究開発	
	高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	95	0	150	150	55	57.9%	空間情報インフラの整備・活用実証の実施	
	G空間情報の円滑な流通促進に向けた検討	0	0	116	116	116	—	地理空間情報の効率的な収集・更新及びそれを活用した社会的課題の解決	
	静止気象衛星業務等	8,379	5,365	3,037	8,402	23	0.3%	ひまわり7号・8号の運営、ひまわり9号の整備等	
	高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発	20	30	0	30	10	50%	高精度測位技術を活用した乗換円滑等に資する情報提供等の技術開発	
	運輸多目的衛星関連施設維持運営に係る経費	空港等維持運営費の内数	空港等維持運営費の内数		空港等維持運営費の内数	—	—	運輸多目的衛星の通信機能及び航法機能を航空管制業務に利用	
	準天頂衛星を利用した航空用の衛星航法システム(SBAS)による測位補強サービスの実現	0	248	0	248	248	—	準天頂衛星システムの静止衛星等を利用したSBASによる測位補強サービスの提供に必要な、SBAS処理装置を整備	
	MEOSAR(コスパス・サーサット中軌道衛星)システムへの移行	—	583	0	583	583	—	MEOSARシステムに対応した地上局等の整備	

府省名	施策名	平成27年度 当初予算	平成28年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
			概算要求額	優先課題推 進枠	計				
環境省		3,980	5,198	680	5,878	1,898	47.7%		
	いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	2,796	3,397	234	3,631	835	29.9%		
	いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備	24	0	234	234	210	875%	いぶき後継機開発及び並行して実施している地上の観測体制強化等	現行機・2号機のみを計上
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による地球環境観測事業	103	97	0	97	▲ 6	▲ 5.8%	「いぶき」現行機による地球環境観測事業(観測データの品質管理を目的とした検証等を実施)	「いぶき」現行機運用終了まで
	GOSATの後継機の開発	2,670	3,300	0	3,300	630	23.6%	「いぶき」後継機のセンサ・地球観測地上設備等開発	エネルギー需要勘定
	JCM推進のためのMRV等関連する技術高度化	—	1,043	0	1,043	1,043	—	「いぶき」後継機のデータ検証及びデータの利用促進のための観測データ処理技術高度化事業	エネルギー需要勘定
	衛星による地球環境観測経費	1,023	594	447	1,041	17	1.7%	GOSATのデータ研究・解析費用及びGOSAT-2のデータ研究・解析設備・体制整備	
	アジア地域渡り鳥等国際共同研究推進	9	9	0	9	0	0%	衛星追跡によるアホウドリ巣立ち後の行動圏の比較・解明等	
	渡り鳥の飛来経路の解明事業	18	18	0	18	0	0%	衛星追跡による渡り鳥の飛来経路の解明	
	発生地周辺への渡り鳥の飛来経路調査	(62百万円の内数)	(50百万円の内数)		(50百万円の内数)	—	—	鳥インフルエンザ等の感染症が発生した際の緊急時の対応	
	希少野生動物野生順化特別事業	106	106	0	106	0	0%	GPSアルゴシステムにより放鳥個体の確実なモニタリングを実施	
	海洋環境モニタリング多様化推進事業	2	0	0	0	▲ 2	▲ 100.0%	油流出事故が発生した際の衛星を利用したモニタリングの実施	
	北西太平洋地域海行動計画推進費	25	30	0	30	5	20%	人工衛星を利用した「環日本海海洋環境ウォッチシステム」の維持管理・改善	
防衛省		29,645	27,978	8,478	36,456	6,811	23%		
	宇宙監視に係る取組	0	0	194	194	194	—	宇宙空間の状況把握に必要となる宇宙監視システムの構築	
	衛星通信、商用画像衛星の利用等	29,260	26,942	8,236	35,178	5,918	20.2%		
	Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	21,549	21,831	5,504	27,335	5,786	26.9%	通信衛星利用料	
	商用画像衛星・気象衛星情報の利用	7,711	5,111	2,732	7,843	133	1.7%	商用画像衛星利用料	
	宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究等	376	1,036	38	1,074	698	185.6%	衛星を含めた将来装備システムの実験等	
	米空軍宇宙業務課程	9	0	9	9	0	0%	課程への派遣	

※四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

※以下の事業は平成27年度に計上していなかったが、平成28年度から宇宙関係予算に計上している。

- ・環境省 「JCM推進のためのMRV等関連する技術高度化」
- ・国土交通省 「MEOSAR(コスパス・サーサット中軌道衛星)システムへの移行」

※戦略的イノベーションプログラム(SIP)等、予算の一部が宇宙関係であるものの額が確定されないものは、上記予算額には計上していない。